

スペイン語

スペイン語科目の学修の目安（到達のポイント）および学習動機別の効果的な履修モデルは以下のとおりです。

(1) スペイン語学修の目安

	到達のポイント	習得する語彙数の目安	資格検定などで対応するレベル
初級	<ul style="list-style-type: none"> ●スペイン語の基礎的な文法事項・語彙を習得する。 ●動詞の時制は、直説法現在を中心に、現在完了・完了過去・不完了過去までを目標とする。 ●スペイン語圏の社会・歴史・文化等についての理解を深める（視聴覚資料を適宜利用）。 <p>【読む】直説法の範囲ならば、辞書を参照することによって、大意をつかむことができる。</p> <p>【書く】辞書や教科書を参照しつつ、直説法の範囲で、簡単な自己紹介や説明を行うことができる。</p> <p>【話す・聞く】定型的な表現を用いて、簡単な自己紹介や旅行で最低限困らない程度の会話ができる。</p>	1000	スペイン語技能検定 5 級程度
中級	<ul style="list-style-type: none"> ●スペイン語の初級文法全般の学習を目標とする。 ●文法事項は、直説法各時制の復習に加え、接続法現在・命令・未来・過去未来までを学習する。 ●スペイン語圏の社会・歴史・文化等について、さらに理解を深める。 <p>【読む】辞書を参照することにより、新聞記事などの大意をつかむことができる。</p> <p>【書く】辞書や教科書を参照しつつ、直訳的であっても意味の通じるスペイン語で、簡単な通信や説明を行うことができる。</p> <p>【話す・聞く】定型的な表現だけでなく、習得した文法規則と語彙を組み合わせながら、意思の疎通を試みることができる。旅行を楽しむ程度の会話ができる。</p>	2000	スペイン語技能検定 4 級程度
上級	<ul style="list-style-type: none"> ●スペイン語の文法を完成させ、読み書きや聞き取り、表現などの実践的学習を行う。 ●既習の文法事項の復習しながら、接続法過去形と各時制の完了形を学習する。 ●スペイン語圏の社会・歴史・文化に対する理解を深めると同時に、自分の伝えたい事をスペイン語で表現できるようになる。 <p>【読む】スペイン語圏で実際に読まれるテキスト（新聞記事や小説など）を辞書を用いて精読できるようになる。</p> <p>【書く】辞書や教科書を参照し、自分の意見などを正しい文法と語彙で表現することができる。</p> <p>【話す・聞く】テレビのニュースや時事解説などを聞いてある程度理解でき、よりネイティブに近い自然な表現を用いてコミュニケーションができるようになる。</p>	3000	スペイン語技能検定 3 級程度

(2) スペイン語履修案内

学習動機	大学院進学や長期留学も視野に入れ、専門的な研究でスペイン語を活用したい。
効果的な履修モデル	【1 年次】スペイン語初級(総合) I・II 及びスペイン語初級(実践) I・II を履修。 【2 年次】スペイン語中級, 春夏学期・秋冬学期各 1 科目を履修。 【3 年次】スペイン語上級, 春夏学期・秋冬学期各 1 科目を履修。
学習動機	専門的な研究には従事しないが, 将来社会に出てビジネスなどでスペイン語を活用したいので, 大学で基礎をしっかりと身につけておきたい。
効果的な履修モデル	【1 年次】スペイン語初級(総合) I・II 及びスペイン語初級(実践) I・II を履修。 【2 年次】スペイン語中級を 1 科目, 地域文化論(中南米)または地域文化論(スペイン)を履修。 【3 年次】スペイン語上級, 1 科目を履修。
学習動機	スペインや中南米の文化に大変興味があり, スペイン語の学習を通して興味を深めたい。
効果的な履修モデル	【1 年次】スペイン語初級(速修)(春夏学期または秋冬学期)1科目もしくは(速修) I・II, スペイン語初級(実践) I・II, 地域文化論(中南米)または地域文化論(スペイン)を履修。 【2 年次】スペイン語中級を 1 科目履修。